

	<h1 style="margin: 0;">中根台中学校便り</h1> <h2 style="margin: 0;">3月 No.1 4</h2>	令和4年2月25日発行
		【校訓】 共に生きる
		生徒数 301名 家庭数 282家庭

校長室から 《「非認知能力」GRIT（グリット）》 中根台中学校長 湯原 徹

生徒たちは、学校生活の中で、各教科や学校行事、部活動、龍の子人づくり学習などの様々な活動で“将来生きていく上で必要となる様々な力（生きる力）”を身に付けていきます。まもなく3月となりますが、1年間の中でどんな力をどの程度、身に付けることができたでしょうか。

近年、よく耳にするようになった「非認知能力」という言葉があります。この非認知能力とは、認知能力の対義語で、数値化しにくい“生きていくために必要な能力”のことを言います。認知能力である『学力やIQ』といった数値で測れるものではなく、「協調性」「コミュニケーション力」「自己肯定感」などの能力です。この非認知能力の一つに、「GRIT（グリット）」と呼ばれるものがあります。ペンシルバニア大学教授（心理学者）Angela Lee Duckworth が提案するもので、成功を左右する要因は、社会的知性、ルックス、身体的健康、IQではなく、「GRIT（グリット）＝“やり抜く力”」であると言われています。

GRIT「やりぬく力」とは、次の言葉の頭文字を取ったものです。

- ・Guts（度胸）：困難なことに立ち向かう力、
- ・Resiliene（復元力）：失敗してもあきらめずに続ける力
- ・Initiative（自発性）：自分で目標を見付ける力
- ・Tenacity（執念）：最後までやり遂げる力

人は、幼児・児童・生徒・学生・社会人と、年齢・キャリアを経るに従って、「自由（主体性）」を個人に任せられる機会や場が増えていきます。誰もが当てはまるものではありませんが、人は束縛・窮屈よりも「自由」を求める傾向があります（私自身も例外に漏れずです）。学校から帰宅すると、塾や習い事がなく自由な日だから怠けてしまう、自分の部屋だから片付けるのが面倒で物を散らかしてしまう、注意されないから好きなゲームを続けてしまうなど、自由をコントロールできずに生じる負の行動？をして、お家や本人自身が困ってしまうことがあるのではないのでしょうか？

そんなときこそ、友達とメールする時間を決める、部屋を整頓する、運動する時間を決める、勉強する内容や時間を決める、リラックスする時間をつくるなどの自由さと戦う行動を通じて、GRIT（やり抜く力）を身に付ける絶好のチャンスと成るのだと考えます。小中学生のころは、GRIT を身に付けながら、人として自立し、自己を高めていくには、「後押しする力」「つながり」などの周囲の力が特に必要です。家族の支えや愛情、友達のつながりや励ましとともに、教職員も、授業・行事・学級において「安心・安全な場」をつくり、様々な声掛け・支援をして「後押し」をしていきます。これからも、ご家庭と協力しながら、教育活動を進めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

3月の予定



2日（水）3年のみ特別日課（14:20 下校） 3日（木）茨城県立高学力検査※3年生登校なし 実力テスト（1・2年） 4日（金）茨城県立高特色選抜検査 7日（月）3年生を送る会（作成動画視聴等） 9日（水）茨城県立高校追加検査（10日実技等） 10日（木）卒業式準備、3年 14:20 下校 11日（金）第27回卒業証書授与式 ※1・2年生登校なし	14日（月）茨城県立高校合格発表 短縮日課（14:45 下校） 15日（火）茨城県立高2次募集期間～16日 18日（金）茨城県立高校追加の検査 21日（月・祝）春分の日 24日（木）修了式、給食なし 25日（金）学年末・学年始休業日（春休み） ～4月5日（火）まで 31日（木）離任式
--	--

《 お知らせ 》

3年生（茨城県立高校受検のない生徒）は3/3（木）、1・2年生は3/11（金）が、感染症拡大防止のため登校を要しない日となります。欠席にはなりません。該当日は、課題が示されますので、自宅での学習をお願いいたします。